
平成25年度 決算説明会資料

平成26年5月9日

日新製鋼株式会社

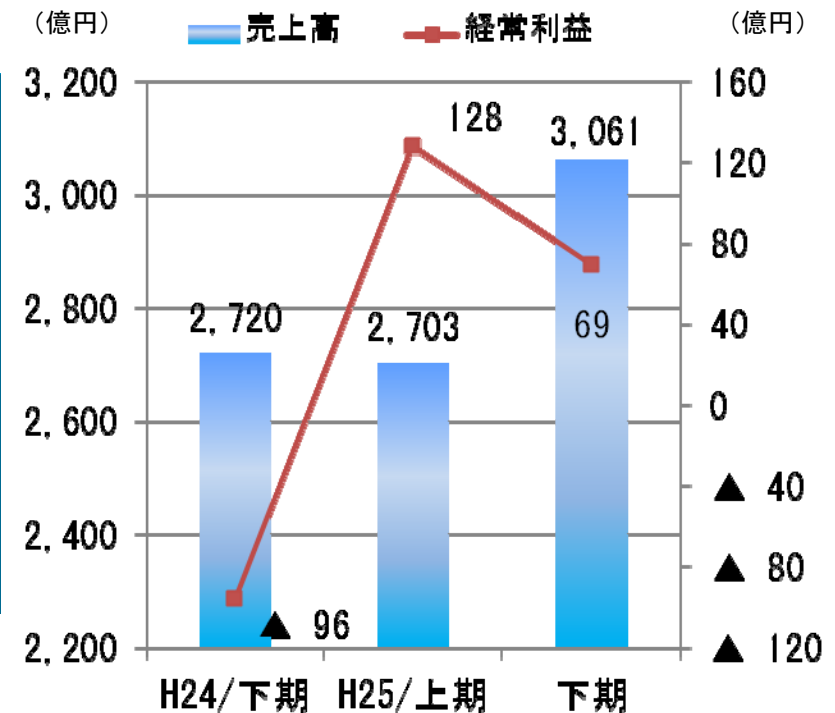
当社の状況



売上高・経常利益の推移

平成25年度の状況

- ✓ H25年度の鋼材需要は堅調に推移。
コア製品であるZAM・特殊鋼は需給が逼迫。
- ✓ 設備トラブル等があったものの、販売価格・構成改善、合理化・総コスト削減活動の推進などにより、大幅増益を達成
- ✓ 株主還元については、期末配当を15円/株実施（年間15円/株。前年度：5円/株）



	H24年度	H25年度			H25年度
	下期	上期	下期	通期	通期 (前回予想)
売上高	2,720	2,703	3,061	5,764	5,710
内ステンレス	800	850	940	1,790	1,760
経常利益	▲ 96	128	69	197	180
内ステンレス	▲ 50	65	5	70	60

24号中計の進捗状況について(1)

✓ **合理化・総コスト削減**

高炉安定化操業の影響 (▲20億) で当初計画を下回る
(H25年度中計:60億円 ⇒ 55億円)

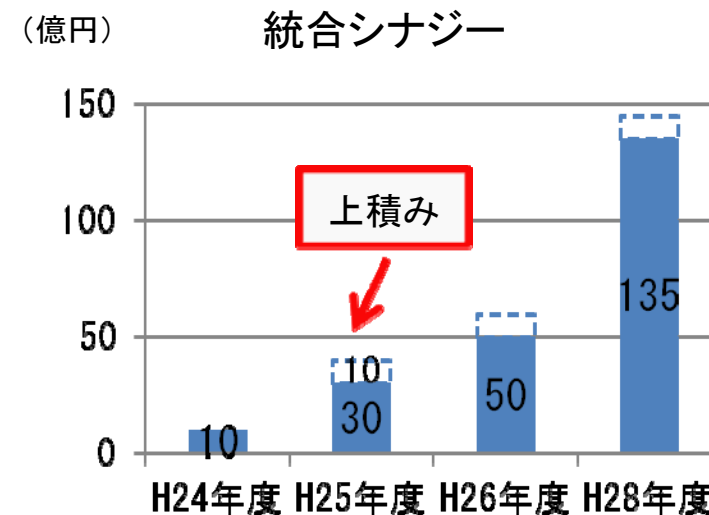
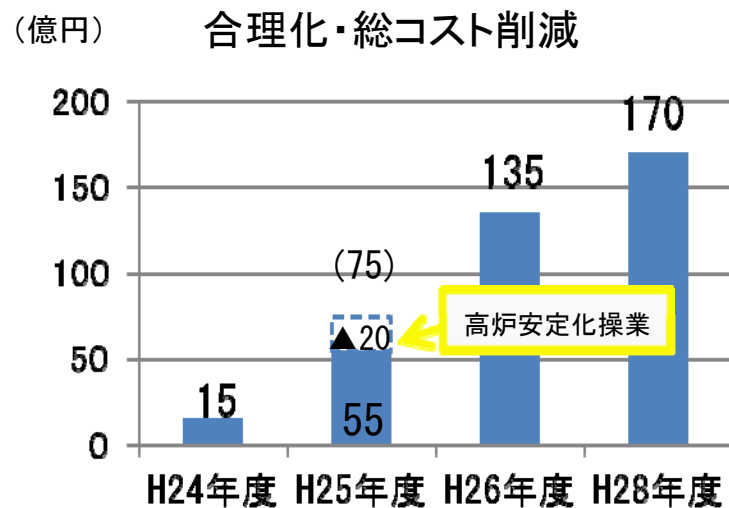
✓ **統合シナジー**

24号中計からの上積みと早期の創出
(H25年度中計:30億円 ⇒ 約40億円)

✓ **IT環境の整備とシステム関連プロジェクトの実現**

- ・ 設備保全管理システム
- ・ 購買・外注契約システム → システムの刷新と全事業所の情報を一元管理

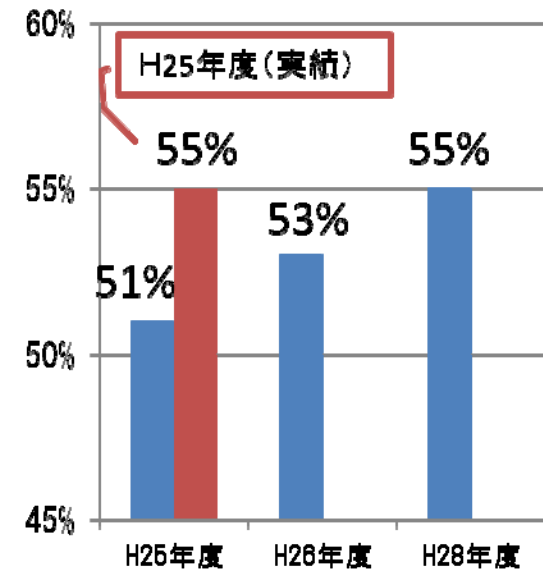
H24 対 H25 合理化金額(億円)	
合理化・総コスト削減	60
高炉安定化操業	▲ 20
統合シナジー	30
追加合理化	30
合計	約 100



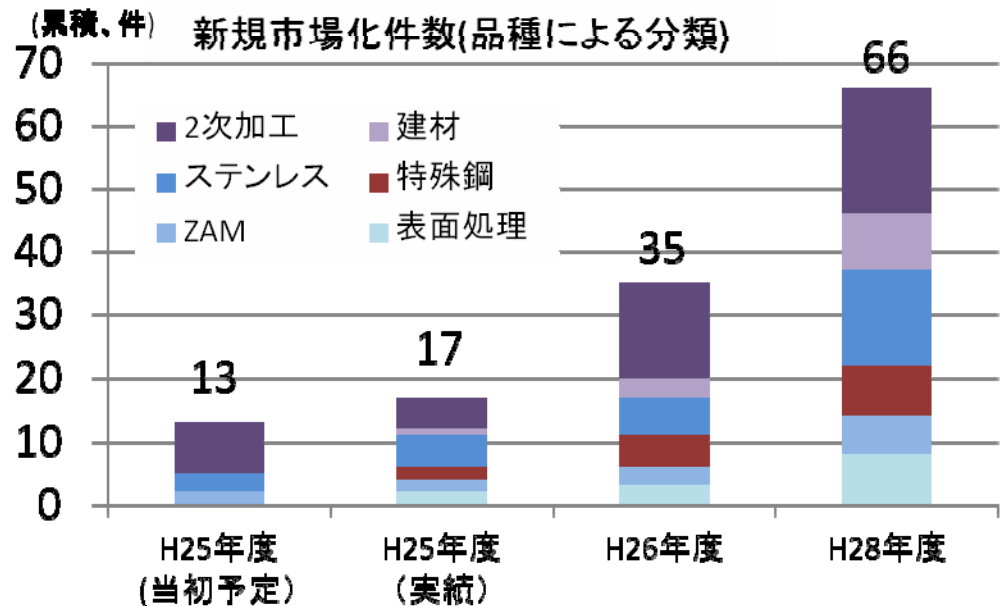
24号中計の進捗状況について(2)

- ✓ **コア製品戦略と商品開発の推進**
コア製品の多層化と開発・ソリューション提案の強化により当初計画を上回る
- ✓ **新規市場の創出と市場展開の推進**
環境・新エネルギー分野などのニーズを先取り
- ✓ **グループ体での川下戦略の展開**
WN:ZAM対応 NAT:造管設備稼働 ハル:第2ライン稼働
日総建:グラジェットシリーズ 日新鋼管:新造管設備稼働 等
- ✓ **グローバル事業体制の構築**
 - ・ 銅めっき (中国) : 本年5月操業開始
 - ・ 特殊鋼冷延 (中国) : H28年操業開始予定

コア製品比率(数量ベース)

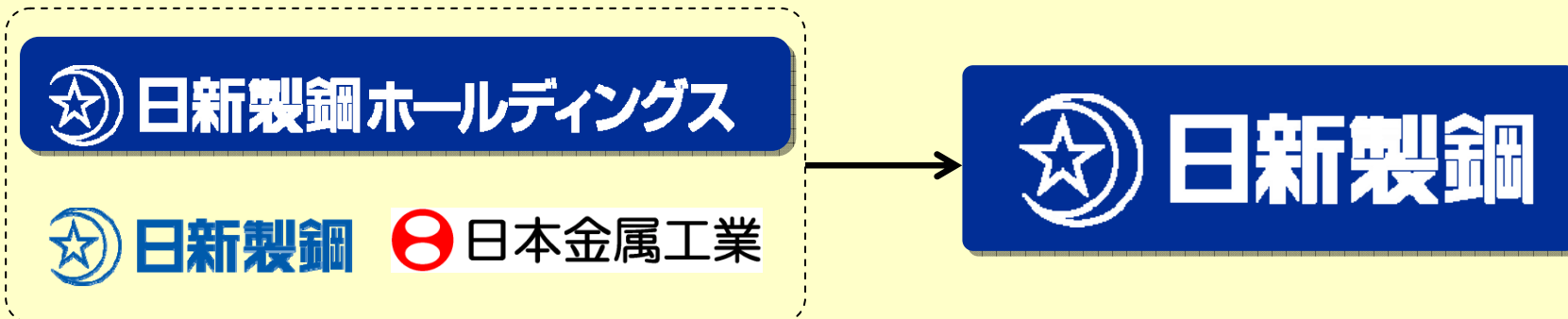


日新製鋼(南通)
<銅めっき>



24号中計の進捗状況について(3)

- ✓ 3社統合とブランドの統一(平成26年4月1日)



グループ会社商号変更

日新ステンレス商事 日新加工 NISSHIN METAL SERVICES 結進日新精密金属

- ✓ 日新製鋼ステンレス鋼管の設立

日新尼崎製造所・日金工鋼管を統合

- ✓ 主要グループ会社の完全子会社化

新和企業 月星海運

- ✓ 資産のスリム化の推進

不動産売却益(41億円)

投資有価証券売却益(35億円)

在庫圧縮の推進

新生 日新製鋼グループへ

平成26年度について

- ◎H26年度も引き続き堅調な需要が継続することを見込む
- ◎消費税増税の影響、原料価格動向など、現時点で不透明要因が多いため、1Q決算発表時に業績予想を発表する予定
- ◎周南新製鋼建設完遂とステンレス上工程統合の前倒し、呉高純度鋼対応設備(H27年完成予定)の早期戦力化を図る

平成26年度は構造改革元年  世界と戦える体制の確立を目指す

- ✓ 効率的な要員・組織・設備・グループ事業体制の構築
- ✓ 将来を見据え、新たなテーマを抽出

平成25年度 決算の概要



平成25年度決算

平成25年度の概況

- ✓ 政策効果や円高修正による輸出環境の改善に加え、後半にかけては消費税増税前の駆け込み需要も加わり、自動車や建材など国内の主要な需要分野は総じて堅調に推移
- ✓ ZAMは、好調な新エネルギー分野の貢献もあり、受注ベースで約6.5万トン/月で推移。特殊鋼は自動車の好調もあり需給は逼迫
- ✓ ステンレスは価格優先の販売方針を堅持。結果的に、販売数量は減少するも徐々に価格改善が浸透。堅調な紐付き販売に加え店売り販売についても、後半にかけて回復の兆しが見えるなど上向き傾向
- ✓ 堺、呉で発生したトラブル影響はあったものの、合理化・総コスト削減活動、統合シナジー最大化、コア製品の拡販に取り組んだ結果、経常利益は197億円（対前期365億円増益）と大幅な業績回復を達成

平成25年度決算

(億円)

	No	H25年度							H24年度		H25年度 (前回予想) J	
		上期			下期				H	I		
		4-6月	7-9月	C	10-12月	1-3月	F	G				
		A	B		D	E						
売上高	1	1,311	1,392	2,703	1,475	1,586	3,061	5,764	[5,516]	5,189	5,710	
営業利益	2	54	31	85	40	40	80	165	[▲ 218]	▲ 168	155	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	45	18	63	45	19	64	127	[▲ 128]	▲ 128	120
	ステンレス	4	15	50	65	0	5	5	70	[▲ 95]	▲ 40	60
	計	5	60	68	128	45	24	69	197	[▲ 223]	▲ 168	180
当期純利益	6	49	42	91	29	57	86	177	[▲ 472]	▲ 373	145	

在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	0	0	0	15	10	25	25	[▲ 55]	▲ 55	25
	ステンレス	8	10	▲ 5	5	10	0	10	15	[▲ 30]	▲ 25	15
	計	9	10	▲ 5	5	25	10	35	40	[▲ 85]	▲ 80	40

<実力ベース>

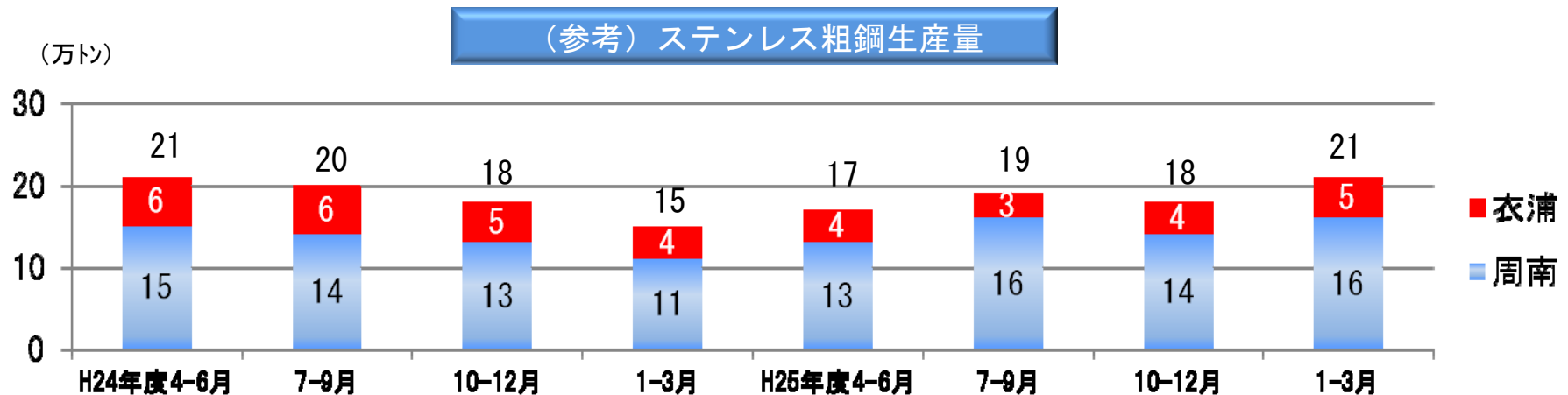
経常利益	普通鋼・特殊鋼	10	45	18	63	30	9	39	102	[▲ 73]	▲ 73	95
	ステンレス	11	5	55	60	▲ 10	5	▲ 5	55	[▲ 65]	▲ 15	45
	計	12	50	73	123	20	14	34	157	[▲ 138]	▲ 88	140

[] 内は、日本金属工業のH24年度上期を含む数値

平成25年度諸元

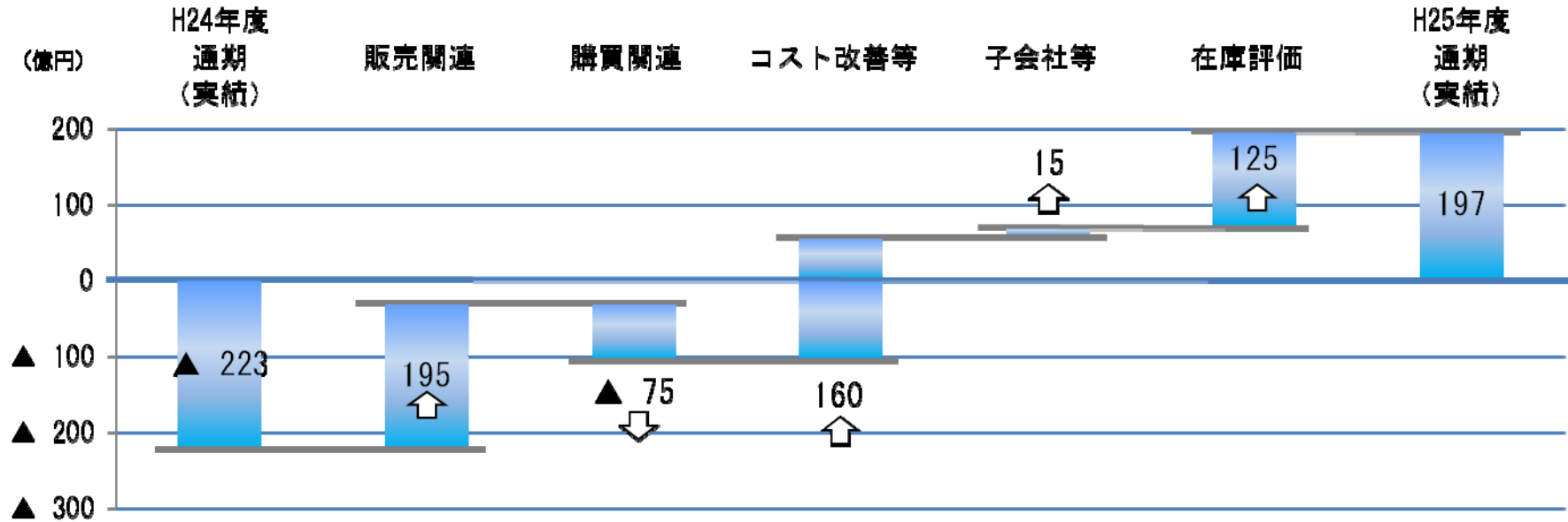
		No	H25年度						H24年度		H25年度 (前回 予想) J	
			上期			下期			H	I		
			4-6月 A	7-9月 B	C	10-12月 D	1-3月 E	F				G
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	81	81	162	73	83	156	318	[328]	328	319
	ステンレス	2	17	19	36	18	21	39	75	[74]	62	73
	計	3	98	100	198	91	104	195	393	[402]	390	392
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	75	73	148	79	82	161	309	[310]	310	309
	ステンレス	5	13	15	28	14	18	32	60	[63]	53	59
	計	6	88	88	176	93	100	193	369	[373]	363	368
鋼材平均単価 (千円/トン)		7	119	123	121	122	125	124	123	[117]	113	122
輸出比率 (金額ベース, %)		8	17	15	16	17	17	17	16	[16]	16	16
輸出為替レート (円/ドル)		9	99	99	99	100	103	102	100	[83]	83	100

[] 内は、日本金属工業のH24年度上期を含む数値



経常利益差異内訳

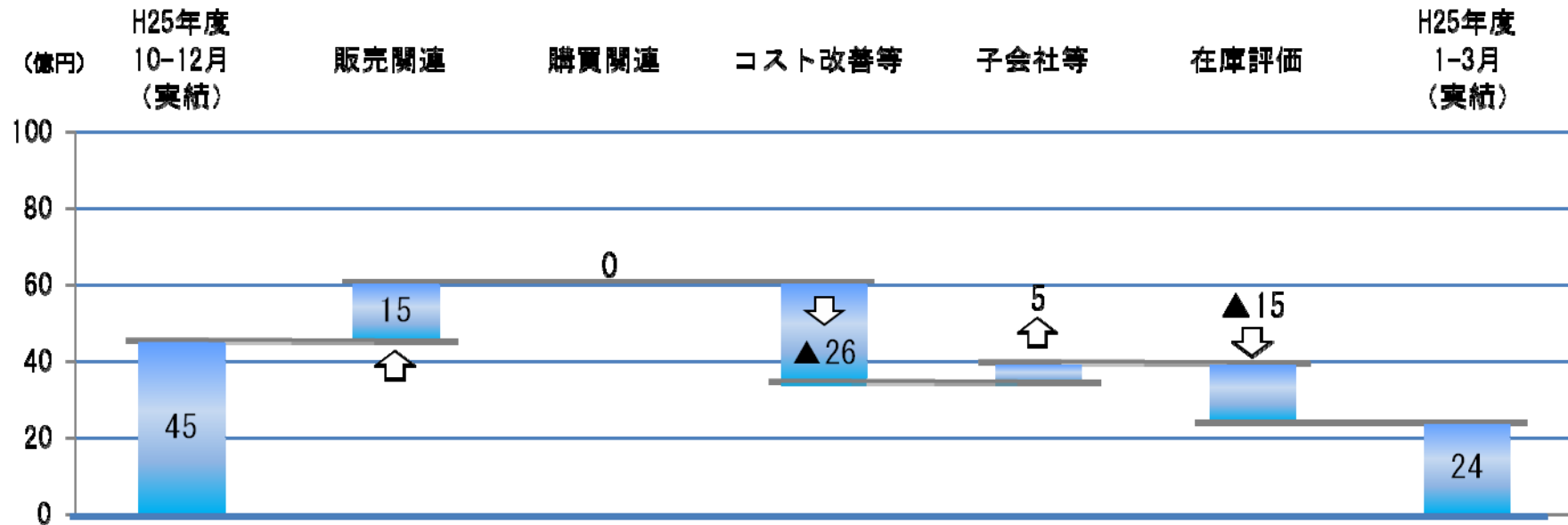
H24年度通期(実績):H25年度通期(実績)



H24年度通期(実績)		変動要因	
		金額 (億円)	(内ステンレス)
		▲ 223	▲ 95
※1 日新製鋼HD(連結) ▲168+日金工H24/上期 ▲55=▲223			
販売関連	195	価格差 60、数量構成差 15、輸出為替差 120	85
購買関連	▲ 75	鉄鉱石 50、石炭 90、ニッケル原料 110、輸入為替差 ▲340	▲ 20
コスト改善等	160	減価償却方法変更 72、緊急収益対策 30、労務費 ▲15、火災 ▲10、高炉トラブル ▲20、高炉安定化操業 ▲20、合理化等	40
子会社等	15	持分他	15
在庫評価	125	▲85→40 (内ステンレス ▲30→15) ※2 H24/上期には日金工分 (▲5) を含む	45
計	420		165
H25年度通期(実績)		197	70

經常利益差異内訳

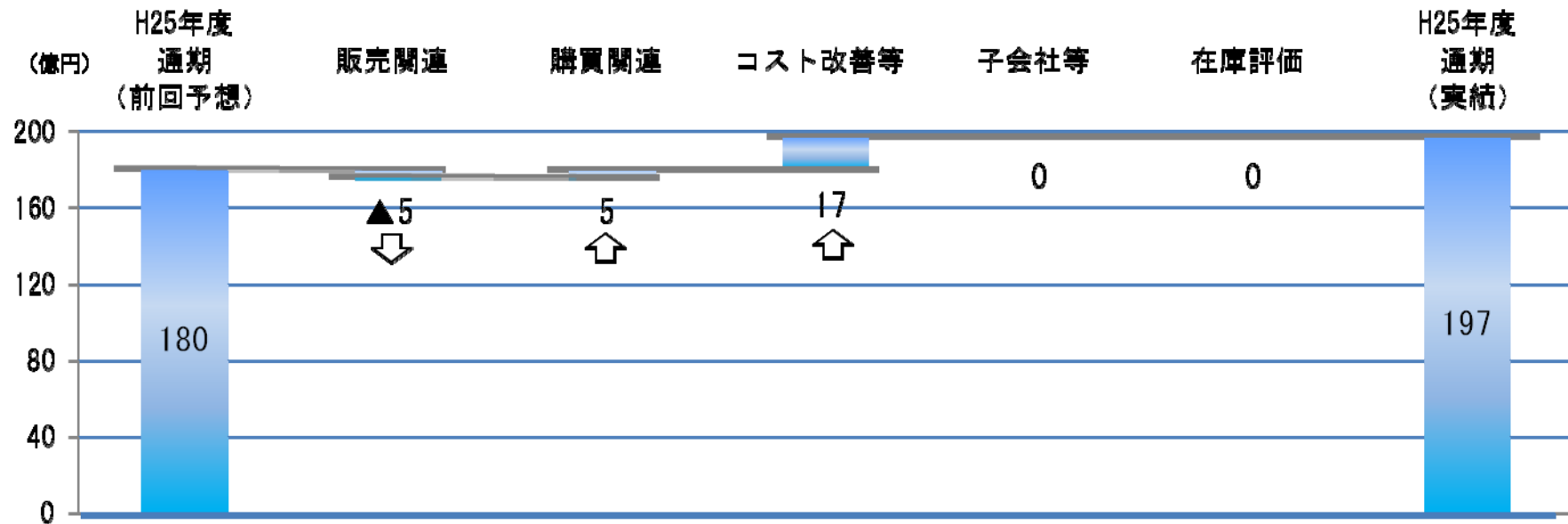
H25年度10-12月(実績):H25年度1-3月(実績)



H25年度10-12月 (実績)		45	変動要因	0
変動要因	販売関連	15	数量構成差 15	10
	購買関連	0	石炭 10、輸入為替差▲10	▲ 5
	コスト改善等	▲ 26	外貨為替▲15、労務費▲15、合理化等	5
	子会社等	5	持分他	5
	在庫評価	▲ 15	25→10 (内ステンレス10→0)	▲ 10
計		▲ 21		5
H25年度1-3月 (実績)		24		5

経常利益差異内訳

H25年度通期(前回予想):H25年度通期(実績)



H25年度通期(前回予想)		180	変動要因	60
変動要因	販売関連	▲ 5	数量構成差▲5	0
	購買関連	5	鉄鉱石 5、ニッケル原料 5、油類 5、輸入為替差▲10	0
	コスト改善等	17	合理化等	10
	子会社等	0		0
	在庫評価	0	40→40 (内ステンレス 15→15)	0
計		17		10
H25年度通期(実績)		197		70

特別損益の内訳

(億円)

		No	金額
特別 損 益	固定資産売却益	1	43
	固定資産除売却損益	2	▲ 15
	投資有価証券売却損益	3	35
	その他の投資評価損	4	▲ 2
	火災損失 (4 T M)	5	▲ 15
	高炉異常操業損失	6	▲ 16
	その他 特別損益	7	-
計		8	28

貸借対照表 (H26年3月末)

(億円)

			主な内訳
		対H25/3末	
現預金	408	▲ 24	
売上債権	794	50	
たな卸資産	1,436	53	
その他流動資産	375	157	
有形・無形固定資産	2,679	31	償却▲221、取得 258
投資等	1,722	206	関連会社為替換算調整勘定の増加 87、退職給付に係る資産 104
資産合計	7,417	474	
有利子負債	3,235	▲ 100	
その他の負債	2,022	208	退職給付に係る負債 30
負債合計	5,257	107	
資本金・資本剰余金	1,200	—	
利益剰余金	662	164	当期純利益 177
自己株式	▲ 87	▲ 0	
その他の包括利益累計額	302	194	為替換算調整勘定 125、退職給付に係る調整累計額 73
少数株主持分	81	7	
純資産合計	2,159	367	
負債・純資産合計	7,417	474	

キャッシュ・フロー

(億円)

	H25年度	主な内容	H24年度
営業活動による キャッシュ・フロー	266	税引前純利益	225
		減価償却費	221
		たな卸資産の増加 ▲	48
		売上債権増加 ▲	45
		仕入債務増加	135
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 192	有形固定資産取得 ▲	223 ▲
財務活動による キャッシュ・フロー	▲ 116	有利子負債減少 ▲	101
		配当金支払 ▲	5
現金及び現金 同等物の期末残高	406		432

剰余金の配当

- ◆配当については、安定的な配当を念頭に、期末配当を1株当たり15.0円(年間15.0円)実施

【利益配分に関する基本方針】

連結業績に応じた適切な剰余金の配当を実施していくことを基本に、企業価値向上に向けた今後の事業展開に必要な内部留保の確保および今後の業績見通しを踏まえつつ、安定的な株主還元を実施

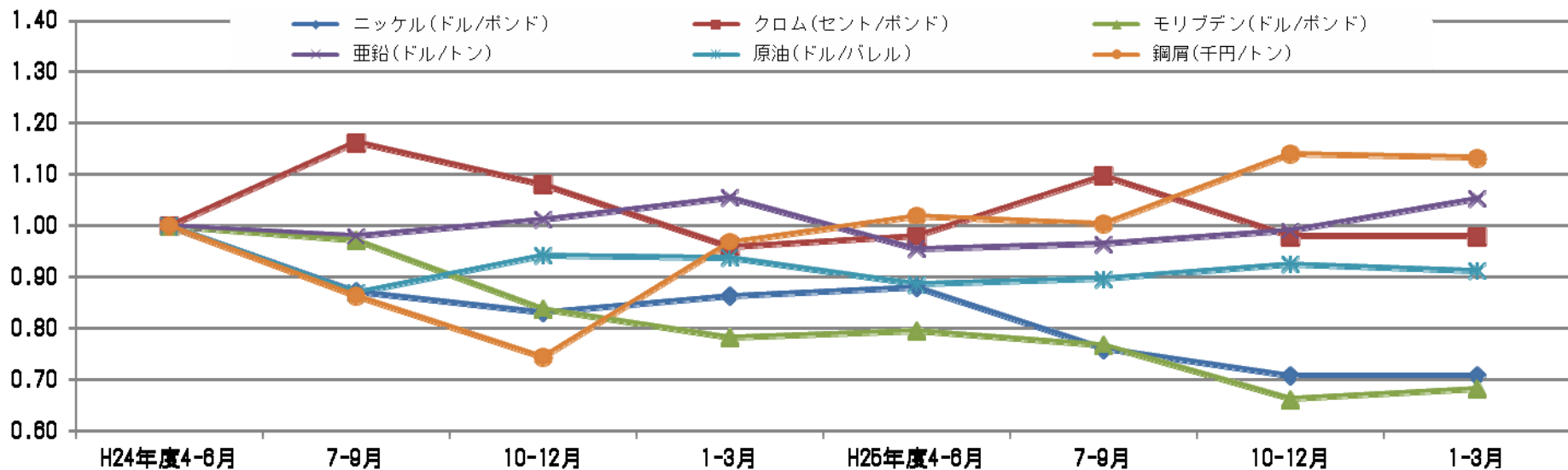
(ご参考)
主要データ



購買市況(適用ベース)

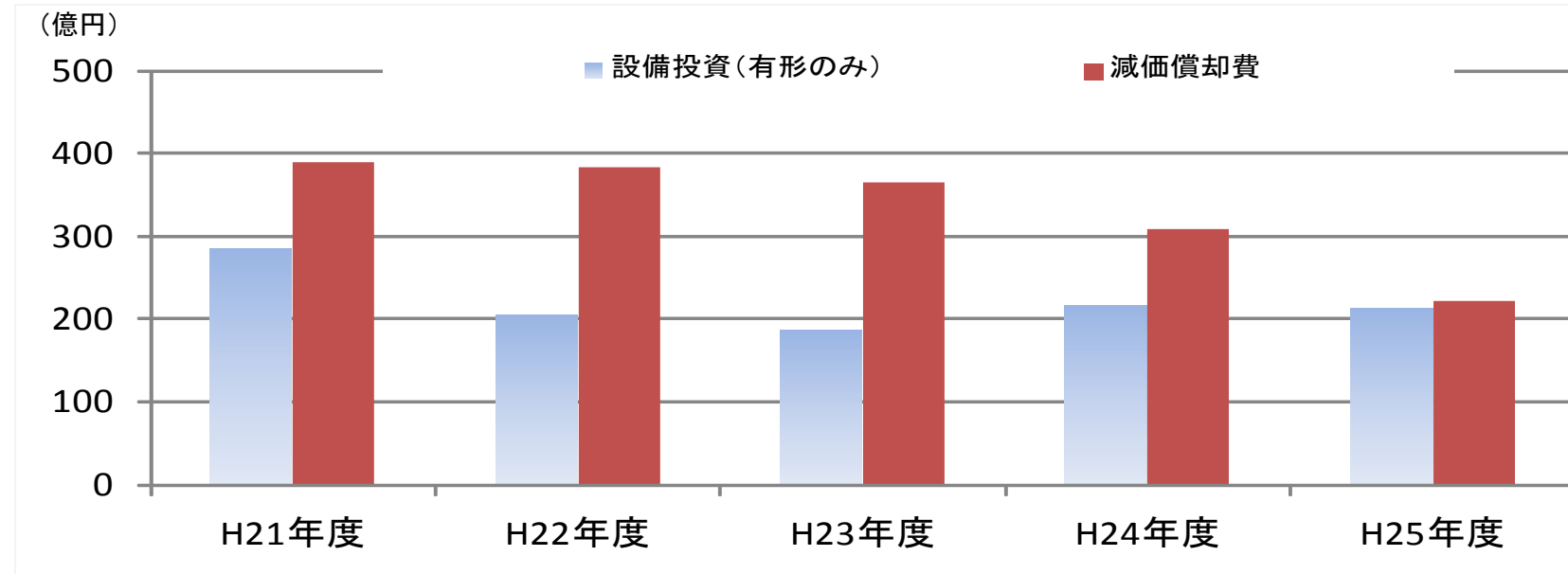
	H24年度							H25年度						
	上期			下期			通期 平均	上期			下期			通期 平均
	4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均		4-6月	7-9月	平均	10-12月	1-3月	平均	
ニッケル(ドル/ポンド)	8.92	7.78	8.35	7.41	7.70	7.56	7.95	7.85	6.78	7.32	6.32	6.31	6.32	6.82
クロム(セント/ポンド)	123.0	143.0	133.0	133.0	118.0	125.5	129.3	120.5	135.0	127.8	120.5	120.5	120.5	124.1
モリブデン(ドル/ポンド)	14.2	13.8	14.0	11.9	11.1	11.5	12.8	11.3	10.9	11.1	9.4	9.7	9.6	10.3
亜鉛(ドル/トン)	1,928	1,889	1,909	1,951	2,033	1,992	1,950	1,840	1,860	1,850	1,909	2,029	1,969	1,910
原油(ドル/バレル)	115.7	100.7	108.2	109.1	108.5	108.8	108.5	102.5	103.7	103.1	107.0	105.6	106.3	104.7
鋼屑(千円/トン)	30.8	26.6	28.7	22.9	29.8	26.4	27.5	31.4	30.9	31.2	35.1	34.9	35.0	33.1

購買市況の推移 (H24年度4-6月を1.00)



設備投資・減価償却費

※H23年度以前は、日新製鋼連結



(億円)

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
設備投資	284	203	185	215	211
減価償却費	390	384	366	309	221

※設備投資額は有形のみ／検収ベース

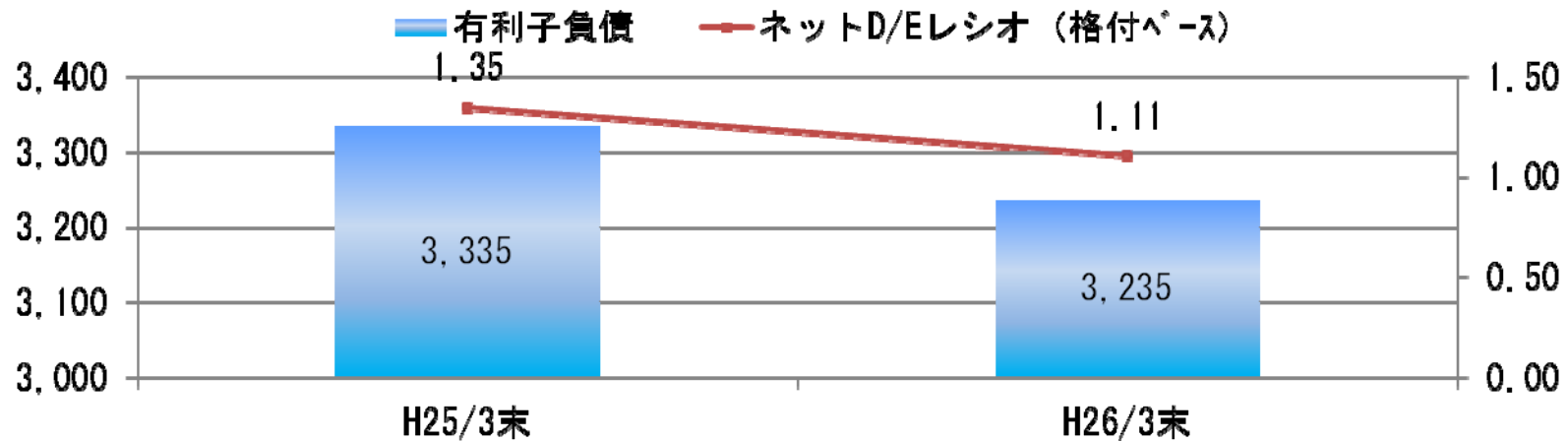
平成25年度完了の主な設備投資

- ・ 日新鋼管株式会社蒲郡工場
- ・ ウィーリング・ニッシン

造管機更新工事

連続溶融鍍金設備ZAM生産対応工事

有利子負債・ネットD/Eレシオ（格付けベース）



	H25/3末	H26/3末
手許預金 (億円)	432	408
有利子負債 (億円)	3,335	3,235
ネットD/Eレシオ	1.69	1.36
〃 (格付けベース) ※	1.35	1.11

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券
 （利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債<劣後特約付・適格機関投資家限定>）
 500億円について、その50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、平成26年5月7日に行った決算発表内容に基づき作成されており、本資料に含まれている当社の将来における計画、戦略、業績に関する見通しの記述については、当社が同日の段階で把握可能な情報から判断したもので、不確定要素を含んでおります。これらの見通し等は、内外の政治経済情勢、主要市場における需要動向の変動、諸制度の変更など様々な重要な要素により実際の業績と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料にのみ依拠して投資判断されますことはお控えくださいますよう、お願いいたします。また、本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ先

日新製鋼株式会社

総務部 広報・IRチーム

TEL : 03-3216-5566